

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	厚生部くすり政策課	班・係	振興開発班
TEL(直通)	076-444-3236		

KPI番号	12							
KPI名	医薬品生産金額							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	6,603億円 (国内シェア10%)	6,218億円 (国内シェア9%)	6,540億円 (国内シェア10%)	6,246億円 (国内シェア9%)	6,937億円 (国内シェア7%)	2021.12 公表予定	8,000億円 (国内シェア10~12%)	-
評価指標動向の説明	R1年調査から生産金額の集計方法等が大きく変更され前年と単純比較はできないが、本県が引き続き全国トップクラスの生産拠点となっている(都道府県別第4位)							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	県内製薬企業では継続して積極的な設備投資が実施されており、また本県において、バイオ医薬品等の高付加価値製品の研究開発や人材育成、海外への販路拡大等を積極的に支援していくことにより、全体として県内医薬品産業は着実に伸長している。これらにより直近H30→R1で年成長率11%となっていることから、目標達成見通しは「達成可能」とした。							
目標達成に向けた課題	医薬品生産金額は、国内で政策により制限された範囲で取り合う構造となっている。このような中でも成長を続けるため、新たな成長分野への参入等の促進や付加価値の高い製品を生み出す技術力等の強化、医薬品産業を支える人材の育成等が必要。							
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も成長が見込まれるバイオ分野等への参入支援や県内企業等の技術力の強化を図ること等により、付加価値の高い製品の開発・製造を支援。 ・産学官による「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムにおいて、世界水準の研究開発を推進。 ・薬事総合研究開発センター等を活用した共同研究やセミナー開催、技術実習等を継続的に実施するとともに、産学官からなる「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムにおいて、医薬品産業を支える専門人材の育成・確保を推進。 ・PMDA北陸支部及びアジア医薬品・医療機器トレーニングセンター研修所の活動などを通じて、今後も高い成長が見込まれているアジア地域をはじめとした海外の医薬品市場への販路拡大を推進 							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部 商工企画課	班・係	新産業創出班
TEL(直通)	076-444-9606		

KPI番号	13							
KPI名	バイオ関連商品の年間売上高							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	63.1億円	68.9億円	73.6億円	78.2億円	82.6億円	95.6億円	100億円	95.6%
評価指標動向の説明	・順調に伸長しており、令和2年度は過去最高の95.6億円となった。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・順調に伸長していることから、目標は「達成可能」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・なし							
今後の取組み	・バイオ専門人材育成・確保のため、バイオ関連企業の施設見学や、セミナー、県内関連企業に対して社会人向けのバイオ専門人材育成研修を実施。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部 商工企画課	班・係	新産業創出班
TEL(直通)	076-444-9606		

KPI番号	14							
KPI名	機械・金属・電子部品の製造品出荷額							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B × 100
	1兆5,120億 円	1兆4,739億 円	1兆6,135億 円	1兆4,646億 円	1兆5,844億 円	集計公表 未定	1兆6,500億 円	-
評価指標動向の説明	製造品出荷額の動きをみると、H29年の製造品出荷額が突出しているが、おおむね上昇基調にある。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	R1まで順調に推移している。また、ものづくり研究開発センターなどを活用した、ものづくり技術の実用化・商品化は着実に進められており、今後も先端ものづくり産業の積極的な支援を図ることで、目標の達成は可能であると考えられる。							
目標達成に向けた課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりR2は出荷額は減少し企業の新技術開発に充てられるリソースも減少するものと考えられるため、更なる技術の実用化・商品化への支援が必要となると考えられる。							
今後の取組み	引き続き県内企業の競争力強化のため、ものづくり研究開発センターなどを活用し、ものづくり技術の実用化・商品化を進めて、今後の先端ものづくり産業への積極的な支援を行う。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部 商工企画課	班・係	新産業創出班
TEL(直通)	076-444-9606		

KPI番号	15							
KPI名	産学官連携によるコンソーシアム(アルミコンソーシアム及びヘルスケアコンソーシアム)に係る研究(技術)開発件数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	-	-	-	4件	7件	10件	15件	66.7%
評価指標動向の説明	順調に推移しており、R2において達成率66.67%となった。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	年間あたり約3件増加しており、順調に推移すれば、目標は「達成可能」と判断した。							
目標達成に向けた課題	特になし							
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミコンソーシアムでは、アルミリサイクル技術などのグリーン化に向けた産学官連携の研究開発を推進する。 ・ヘルスケアコンソーシアムでは、とやまヘルスケア商品化サンドボックスによる産学官連携による新製品開発に取り組む研究開発を支援する。 							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部 商工企画課	班・係	新産業創出班
TEL(直通)	076-444-9606		

KPI番号	16							
KPI名	従業者1人当たり付加価値額(製造業)							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	1,127万円	1,041万円	1,088万円	1,089万円	1,187万円	集計公表 未定	1,295万円	-
評価指標動向の説明	H28に一旦下落したが、そこからは上昇基調で順調に推移しており、R1は過去最高の1,187万円となった。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	R1まで順調に推移している。また、ものづくり研究開発センターなどを活用した、ものづくり技術の実用化・商品化は着実に進められており、今後も先端ものづくり産業の積極的な支援を図ることで、目標の達成は可能であると考えられる。							
目標達成に向けた課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、R2は出荷額の減少に伴い従業者1人当たり付加価値額も減少するものと考えられるため、更なる技術の実用化・商品化への支援が必要となると考えられる。							
今後の取組み	引き続き県内企業の競争力強化のため、ものづくり研究開発センターなどを活用し、ものづくり技術の実用化・商品化を進めて、今後の先端ものづくり産業への積極的な支援を行う。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部 商工企画課	班・係	新産業創出班
TEL(直通)	076-444-9606		

KPI番号	17							
KPI名	年間産学官共同研究件数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	393件	379件	378件	386件	402件	395件	416件	95.0%
評価指標動向の説明	富山大学や県立大学が企業との共同研究を積極的に進めていることや、連携コーディネートの効果により、H23年度から産学官共同研究件数は増加している。R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、共同研究件数はR1年度から僅かに減少した。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	連携コーディネーターの活動の強化により、大学、高専、産業技術研究開発センターにおいて、アフターコロナに向けた県内企業との共同研究数が、高いレベルで維持されており、R6年度の目標値に達成する可能性がある。							
目標達成に向けた課題	今後も、大学、支援機関、公設試のコーディネーターによる積極的なコーディネート活動を支援し、県内外の研究者と企業とのネットワークを強化するなど産学官連携体制の強化が重要である。							
今後の取組み	「新・富山県ものづくり産業未来戦略」に基づく重点分野において、産学官連携した共同研究による新製品・新技術の開発を推進する。また、国等の競争的研究開発資金を活用した産学官連携プロジェクト数を着実に増加させる。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部 商工企画課	班・係	新産業創出班
TEL(直通)	076-444-9606		

KPI番号	18							
KPI名	国等の競争的研究開発資金の新規獲得件数(累計)							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	36件	41件	43件	44件	45件	47件	56件	84.0%
評価指標動向の説明	R2年度は経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業に2件新規採択された。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	企業のニーズと大学の技術シーズをマッチングすることにより、大型プロジェクトの獲得が期待できるものの、目標の件数に到達するには、新世紀産業機構や各大学の産学官連携コーディネータのさらなる積極的な活動が必要である。							
目標達成に向けた課題	積極的なコーディネート活動を支援し、県内の研究者と企業の技術者の新たなネットワークを構築・強化することが必要である。							
今後の取組み	引き続き、産学官連携コーディネート活動を支援するとともに、「若い研究者を育てる会」等の人材育成事業により、本県のものづくり産業を支える高度ものづくり人材の育成を推進する。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部商工企画課	班・係	新産業創出班
TEL(直通)	076-444-9606		

KPI番号	19							
KPI名	ものづくり人材の育成人数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	198人	214人	319人	406人	417人	425人	480人	88.5%
評価指標動向の説明	人材育成研究(若い研究者を育てる会、産業技術研究開発センターにおける研修、アルミコンソーシアムにおける人材育成研修)を通じて、高度なものづくり人材を着実に育成することができている。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、若い研究者を育てる会が中止となったため、令和元年度と比較して当年度の人材育成研究参加者数が減少したが(R元:11人⇒R2:8人)、令和3年度は事業実施予定であり、人材育成研究全体で年平均15人前後の参加が見込まれるため、「達成可能」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・本県のものづくり産業を支える高度なものづくり人材の育成に向けて、今後も、若い研究者を育てる会や産業技術研究開発センターと連携した人材育成研修等を実施することで、高度なものづくり人材の育成を目指す。その際、ものづくり人材の育成の重要性をしっかりと県内中小企業にPRし、参加する企業数を一層増やす活動が重要となる。							
今後の取組み	・若い研究者を育てる会や産業技術研究開発センターと連携してものづくり人材の育成の重要性を県内中小企業にPRし、人材育成研究参加者数の増加を目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部地域産業支援課	班・係	地域産業活性化班
TEL(直通)	076-444-3249		

KPI番号	20							
KPI名	県内中小企業(製造業)の従事者1人あたりの付加価値額							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	847万円	916万円	965万円	986万円	926万円	R4年6月公表予定	1,198万円	-
評価指標動向の説明	近年は従業員数が横ばいとなっているのに対して付加価値額全体は減少しているため、1人あたりの付加価値額は減少傾向にある。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	目標達成には付加価値額全体の増加が不可欠であるが、H30→R1は減少し、R2以降も新型コロナウイルス感染症拡大の影響が懸念されることから「要努力」と判断した。							
目標達成に向けた課題	生産性の向上を含む中小企業の課題解決に向け、県の支援情報や、相談窓口となる中小企業支援センター・よろず支援拠点の知名度の向上が必要である。							
今後の取組み	中小企業支援センターへの補助事業の継続とともに、中小企業への支援情報やよろず支援拠点の周知に努める。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部地域産業支援課	班・係	地域産業活性化班
TEL(直通)	076-444-3249		

KPI番号	21							
KPI名	首都圏をはじめとする県の中小企業販路開拓支援事業における商談成約金額実績							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B × 100
	約10.1億円	約5.8億円	約8.9億円	約8.3億円/ 年(H26～ H29平均) 約9.8億円 (H30実績)	約11.5億円	R4年4月公 表予定	約8.5億円/ 年(H30～ R5平均)	-
評価指標動向の説明	中小企業の契約成立受注金額の増加により近年は増加傾向にある。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	H30以降は目標(平均値)を達成していること、また適切に事業を見直しながら、効果的な事業の執行に努めることにより達成可能と判断した。							
目標達成に向けた課題	県内中小企業が支援策を十分に活用できるよう、より一層広報活動に取り組むとともに、支援企業が効果的に技術や製品の売り込みができるようきめ細やかな指導をすることが必要である。							
今後の取組み	引き続き商談会開催等に関する補助事業を通じて中小企業の販路開拓を支援する。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部地域産業支援課	班・係	地域産業活性化班
TEL(直通)	076-444-3249		

KPI番号	22							
KPI名	海外著名展示会出展企業数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	10事業者	10事業者	12事業者	8事業者	8事業者	3事業者	20事業者	15.0%
評価指標動向の説明	・出展企業数は、近年少しずつ伸びていたものの、新型コロナウイルス感染症の影響による展示会の中止や延期が相次ぎ伸び悩んでいる。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、海外著名展示会自体が中止等になっているため。							
目標達成に向けた課題	・新商品開発や海外販路開拓、伝統工芸技術を活かした新分野進出等を支援するとともに、伝統技術の継承、後継者の育成・確保をする必要がある。							
今後の取組み	引き続き令和3年度当初予算に盛り込んだ事業の実施を推進していくとともに、伝統工芸の新たな販路開拓と伝統技術の継承・後継者育成を図る施策を検討していく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部商工企画課	班・係	デザイン・クリエイティブ産業振興班
TEL(直通)	076-444-3245		

KPI番号	23							
KPI名	「富山プロダクツ」選定商品数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	252件	272件	288件	318件	335件	358件	400件	89.5%
評価指標動向の説明	・富山プロダクツの認知度の高まり等により、順調に推移している。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	順調に推移しており、目標は達成可能と判断した。							
目標達成に向けた課題	なし							
今後の取組み	県内事業者への周知や製品開発支援を通じ、目標の早期達成にむけ努力していく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部 立地通商課	班・係	物流通商班
TEL(直通)	076-444-3400		

KPI番号	24							
KPI名	海外販路開拓に関するサポート件数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	80件	93件	96件	108件	112件	128件	110件	116.3%
評価指標動向の説明	多くの県内企業がアジア地域における販路開拓を活性化させているほか、R2年度では、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、県内企業へのサポート件数がさらに増加した。							
目標達成の見通し	既に達成							
目標達成の見通しの判断理由	H30年度より富山サポートデスクでの機能拡大・拡充が図られたほか、コロナの影響もあり県内企業へのサポート件数が増加した。今後もコロナの影響を受けた県内企業へのサポートは必要となる見込みが高く、目標件数にも達したため、既に達成とした。							
目標達成に向けた課題	ジェトロや(公財)富山県新世紀産業機構などとも一層の連携を図り、県内企業の海外展開の進展のため、さらなるサポートを行っていく必要がある。							
今後の取組み	県内のものづくり企業や製品・技術を国内外にPRする富山県ものづくり総合見本市を開催するほか、ジェトロや(公財)富山県新世紀産業機構などとも一層の連携を図り、県内企業の海外販路開拓を支援していく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部 立地通商課	班・係	企業誘致係
TEL(直通)	076-444-3244		

KPI番号	25							
KPI名	企業立地件数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	57件	57件	58件	単年:70件 平均:61件 (H27~30)	71件	単年:60件 平均:65件 (R1~R2)	68件	95.5%
評価指標動向の説明	H27年から企業立地件数は順調に伸びてきた。R2年度は世界的な新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、立地件数は60件であった。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	R1年度までは企業立地件数は順調に伸びていた。R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり立地件数が減少したが、達成率は95.5%であったため、達成可能とした。							
目標達成に向けた課題	さらなる企業の立地を推進するため、市町村とも一層の連携を図り、企業誘致活動を進めていく必要がある。							
今後の取組み	今年度当初予算に盛り込んだ事業を着実に推進していくとともに、市町村との連携を密にし、企業への誘致活動を推進する。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部 立地通商課	班・係	企業誘致係
TEL(直通)	076-444-3244		

KPI番号	26							
KPI名	特定業務施設整備計画認定企業における認定件数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	8件	12件	15件	18件	22件	26件	37件 (H27～R3 累計)	70.3%
評価指標動向の説明	R.3.3.31までに24社26計画の施設整備計画を認定した。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	認定数を増やすため、企業誘致PR用リーフレットの作成および配布、大都市圏での企業立地セミナーを実施している。新型コロナウイルス感染症の影響により地方移転を検討する企業も増えており、達成可能とした。							
目標達成に向けた課題	さらなる企業の本社機能の移転や拡充を促進するため、市町村とも一層の連携を図り、企業誘致活動を進めていく必要がある。							
今後の取組み	引き続き、令和3年度当初予算に盛り込んだ事業を着実に推進していくとともに、市町村との連携を密にし、企業への誘致活動を推進する。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部労働政策課	班・係	雇用推進班
TEL(直通)	076-444-4558		

KPI番号	27							
KPI名	若者の就業率(15～34歳の人口に占める就業者の割合)							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	64.1%	64.1% (H27)	64.1% (H27)	64.1% (H27)	64.1% (H27)	2022.5月頃 公表予定	64.8%以上	-
評価指標動向の説明	H26策定時の64.8%と比較すると、就業率は減少しているが、これは進学者の占める割合が高くなっているためであり、進学者を除く率で比較すると就業率は上昇している。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	R2国勢調査結果は未公表であるが、本県の雇用失業情勢は、完全失業率や新規学卒就職者の在職期間別離職率などの関連指標は低下傾向で推移し、有効求人倍率も全国平均よりも高い水準で推移しており、引き続き、ヤングジョブとやまにおいて若者の就業支援を行う等、目標達成に向け取り組んでいく。							
目標達成に向けた課題	企業の採用活動スケジュールが年々早くなっていることから、適切なタイミングでマッチングを支援していく必要がある。また、就職した若年者の3年以内離職率は、全国と比べて低いものの、依然として大卒で30.7%と高い水準にあり、引き続きインターンシップの推進や職場定着等ミスマッチの解消に取り組む必要がある。							
今後の取組み	ヤングジョブとやまにおいて実施する合同企業説明会や面接会の開催時期を就職活動スケジュールに合わせて柔軟に設定し、求職者と企業のマッチングの機会を増やすとともに、求職者のニーズに応じたカウンセリングやセミナーを開催し、若者の就業支援や職場定着に取り組む。また、低学年向けの業界・企業研究会やインターンシップ説明会等の実施を通じて、早い段階からの就業支援と県内定着の促進に取り組む。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部農林水産企画課	班・係	企画班
TEL(直通)	076-444-3368		

KPI番号	28							
KPI名	富山県の農業産出額							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	617億円	666億円	661億円	651億円	654億円	R4.3月頃公表予定	725億円	-
評価指標動向の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の農業生産額は、米が69%を占め、稲作を中心とした農業生産構造となっている。 ・近年は、全国的な米消費量の減少により、主食用の生産面積が減少傾向となっているため、目標どおりに農業産出額が増加していない。 ・畜産については、豚熱等の影響により経営を中止した農場があるなど、産出額は減少している。 							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	<ul style="list-style-type: none"> ・米については、1等比率は北陸で最も高いことや、「富富富」の新たな生産販売戦略に基づき、中生品種の大宗を占める品種となるよう、栽培面積の拡大を目指すなど、富山米の品質向上・ブランド化の取組みを進めているが、高齢化の進行と、新型コロナによる外食需要の低下により、主食用米の需要がさらに減少すると懸念されている。 ・園芸では、各JAが推進する戦略品目における施設整備や、産地における担い手育成の体制整備、さらに水田汎用化の基盤整備が進んでいることから、高収益作物の作付けが拡大しているが、労働力不足や天候不順等の影響で、農業産出額が伸び悩んでいる。 ・畜産については、施設整備や畜産物のブランド化が着実に進展しているが、豚熱や、高病原性鳥インフルエンザの影響が懸念されている。 <p>以上の状況に対し、施策の効果的な展開に努めているが、社会状況も変化している中、目標達成には更なる努力が必要である。</p>							
目標達成に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響等により米の需要が減少している中、米の需要拡大に向けた県外、海外に向けた販路開拓を進める必要がある。 ・農産物全般について、スマート農業技術等のイノベーションによる生産性の向上、高品質化に向けた取組みを進める必要がある。 ・畜産経営の基盤強化を進めることや、酒粕給与による「とやま和牛」のブランド化を図ることなど、産地競争力の強化に努めていく必要がある。 							
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度予算に盛り込んだ関連事業を着実に推進するとともに、国、市町村、JA、生産者組織等の関係団体と連携を図り、農業生産額の拡大を目指す。 							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部農業経営課	班・係	経営体支援係
TEL(直通)	076-444-3266		

KPI番号	29							
KPI名	45歳未満の新規就農者数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	56人	87人	65人	62人	55人	68人	60人以上	113.0%
評価指標動向の説明	・近年では、年50人以上が新規に就農しており、直近3か年の平均は60名以上と目標を上回る水準を確保している。							
目標達成の見通し	既に達成							
目標達成の見通しの判断理由	・H27に開校した「とやま農業未来カレッジ」における通年研修をはじめ、就農相談や就農支援情報の提供などの取組み強化、就農時の農業機械等への整備支援などにより、着実に新規就農者の確保に繋がっていることから、目標は「既に達成」であると判断した。							
目標達成に向けた課題	・新規就農者の育成・確保に向け、「とやま農業未来カレッジ」における研修内容のさらなる充実や、就農時の農業機械等の整備、就農後のフォローアップ等の取組みを一層進める必要がある。							
今後の取組み	・「とやま農業未来カレッジ」の研修において、スマート農業技術等の新たな技術・知識の習得に向けたカリキュラムの充実や、就農後の経営確立に向け、新規就農者に対する農業機械等の整備を支援する。また、農業経営の継承を推進するため、移譲希望者の掘り起こし、継承希望者とのマッチング等に向けた取組みを支援する。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部農業経営課	班・係	経営体支援係
TEL(直通)	076-444-3266		

KPI番号	30							
KPI名	経営面積50ha以上の農業経営体数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	102経営体	115経営体	116経営体	128経営体	132経営体	148経営体	190経営体	77.8%
評価指標動向の説明	・規模拡大を目指す経営体に農地が集積され、生産性や所得向上を目指す大規模経営体数が増加している。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・農地中間管理事業による農地集積・集約化への支援、経営面積の拡大等に必要となる農業機械・施設等の導入に対する支援等により、担い手への農地集積と経営規模の拡大が進んでいることから、目標は「達成可能」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・経営規模拡大を図るためには、農地中間管理機構等による農地集積、経営規模拡大や生産性の向上のために必要な農業機械・施設の整備などを一層進める必要がある。							
今後の取組み	・引き続き、農地中間管理事業による農地集積・集約化への支援、経営面積の拡大等に必要となる農業機械・施設等の導入に対する支援等に取り組む。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部 農村振興課	班・係	農村活性化係
TEL(直通)	076-444-3381		

KPI番号	31							
KPI名	6次産業化の販売額							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	107億円	104億円	115億円	120億円	109億円 (R3.6公表)	R4.6公表	150億円	-
評価指標動向の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・年次変動はあるが、概ね微増傾向(H27とR1の対比102%)。 ・全国では、H27:22,017億円→R1:23,074億円(対比105%)。 ・直近の報告値はR1のもので、前年度と比較すると、直売所や漁業関連が減額した。 							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	<ul style="list-style-type: none"> ・データが公表されたH23:75億円から、R1:109億円へ(対比145%)と大きく伸びているものの、1年間あたりの増加額は4.2億円程度にとどまっていることから「要努力」とした。 							
目標達成に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村と連携した「6次産業化市町村戦略」に基づく6次産業化の推進をはじめ、農商工連携や地産地消など、関連施策と連携した推進が必要。 							
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所やネット販売など、新たな価値観への対応強化 ・地域食農連携事業(地域の農林水産物の資源の有効活用を目指し、地域内の食と農にかかわる様々な事業者が連携、R3新規)を通して、新たなビジネスモデルの創出を目指す。 							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部 農村振興課	班・係	農村活性化係
TEL(直通)	076-444-3381		

KPI番号	32							
KPI名	農村女性起業数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	174件	181件	183件	185件	186件	190件	220件 (R8)	86.4%
評価指標動向の説明	・高齢化等により廃業する経営体もいるが、新規の農村女性起業者は増加しており、着実に目標に向かっていく。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・起業に必要な知識・技術の習得や補助事業支援により、農産加工等の取組みは進んでいる。							
目標達成に向けた課題	・農村女性の起業活動に必要な知識・技術の習得、商品開発等のスタートアップや発展段階に応じた機材の導入など働く環境の整備への支援が必要である。							
今後の取組み	・農村女性の起業セミナーの開講、専門家派遣などにより起業スキルの向上、定着を進めるほか、発展段階に応じた施設整備や事業継承、起業後のネットワーク化を支援する。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部森林政策課	班・係	木材利用推進係
TEL(直通)	076-444-3388		

KPI番号	33							
KPI名	県産材生産量							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	95千㎡	97千㎡	94千㎡	97千㎡	128千㎡	128千㎡	135千㎡	94.8%
評価指標動向の説明	<p>・県産材利用促進条例に基づく基本計画(H29.10月策定)に沿って、路網整備や高性能林業機械の導入、主伐・再造林の推進、林業担い手の育成・確保等による県産材の安定供給体制の整備と、公共建築物の木造化等による需要拡大の取組みを積極的に進めてきたことから、素材生産量は増加傾向にある。</p>							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	<p>・木材として利用可能な高齢級の森林資源が年々充実しつつあるなか、航空レーザ計測や森林クラウドによるスマート林業の推進、高性能林業機械の導入や路網整備等による生産コストの低減が図られてきており、また、主伐・再造林の取組みも進みつつあることから、「達成可能」と判断した。</p>							
目標達成に向けた課題	<p>・2050年カーボンニュートラルを見据え、森林資源の適正な管理・利用や林業収支のプラス転換等を図るため、引き続き、スマート林業の推進等による生産コストのさらなる低減や、林業担い手の確保・育成を進める必要がある。</p> <p>・公共建築物等木材利用促進法が改正されたことから、民間建築物を含む建築物一般での県産材の利用を促進し、さらなる需要の拡大を図る必要がある。</p>							
今後の取組み	<p>・令和3年度の当初予算に盛り込んだ事業を着実に推進していくとともに、引き続き、市町村、林業関係団体などと連携を図っていく。</p>							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部森林政策課	班・係	森づくり推進班
TEL(直通)	076-444-3387		

KPI番号	34							
KPI名	林業就業者数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	463人	452人	456人	441人	430人	427人	450人	94.9%
評価指標動向の説明	<p>・林業事業者の雇用形態は、季節雇用が主流となっているため、雇用が不安定であり、他産業に比べて高い労働災害の発生率、賃金水準の低さなどから、林業就業者数は減少している。</p>							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	<p>・林業事業者は、高性能林業機械の導入による労働安全性・生産性の向上や、通年雇用への取組みを図るなど就労条件の改善に努めており、近年の雇用条件の動向を踏まえ、目標の95%を達成していることから「達成可能」と判断した。</p>							
目標達成に向けた課題	<p>・安定的に若年層を中心とした雇用者確保と離職者を減少させるため、安全で効率的な就労環境の整備を進めるよう、引き続き事業体に働きかける。</p>							
今後の取組み	<p>・一定数の林業就業者を維持していくため、就業相談会の開催、将来の担い手となる県内の高校生等を対象とした林業体験の開催や「とやまの林業就業ナビ」などを通じて新規就業者の確保に努める。 ・富山県林業カレッジによる経験や役割に応じた研修を通じた就業者の育成にスマート林業技術を組み込むなどして、支援する。</p>							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部水産漁港課	班・係	漁政係
TEL(直通)	076-444-3293		

KPI番号	35							
KPI名	沿岸漁業の生産量							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	27,939t/年	22,222t/年	12,667t/年	24,944t/年	14,839t/年	17,753t/年	23,500t/年	75.5%
評価指標動向の説明	<p>・本県の漁業は、待ちの漁法の定置網中心であるため、魚種毎の年による漁獲量変動が大きいです。</p> <p>・令和2年は、アジが1,180t(過去10年平均:2,313t)、ソウダカツオが327t(〃:1,725t)、ツ바이ソ・フクラギが683t(〃:1,359t)で平年を大幅に下回った。</p>							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	<p>・全国的に水産資源管理を実施しており、今後、水産資源の回復が見込まれるものの、生産量は回遊魚の来遊状況に大きく左右されるため、より一層の施策の推進が必要であり、「要努力」とした。</p>							
目標達成に向けた課題	<p>・回遊魚の来遊状況により漁獲量の変動が大きくなることから、その変動要因を解明する必要がある。</p> <p>・クロマグロへの漁獲規制がそれ以外の魚種の漁獲にまで過度な影響を及ぼすことのないよう、定置網からのクロマグロ小型魚の放流技術の普及等、効果的な資源管理手法の確立が必要である。</p> <p>・キジハタ・アカムツなど新たな魚種の栽培漁業の事業化に向け、引き続き、研究を推進する必要がある。</p>							
今後の取組み	<p>・国においては、資源評価に基づく漁獲可能量(TAC)による水産資源の管理を拡大して行くとしており、本県に来遊する主要な回遊魚種についても、今後資源が増加して、本県における漁獲量は安定化すると考えられる。県においては、資源管理型漁業、栽培漁業、富山湾の海洋環境保全等にかかる施策を総合的に講じることで、漁獲量の維持増大を図る。また、漁業生産に必要な漁港の維持管理や施設整備等の支援を通じ、高鮮度で付加価値のある水産物の供給に努める。</p>							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部水産漁港課	班・係	経営係
TEL(直通)	076-444-3292		

KPI番号	36							
KPI名	漁業就業者のうち若手就業者(40歳未満)の構成割合							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	-	-	-	28.5%	-	-	32.0%	-
評価指標動向の説明	・5年毎に実施される漁業センサスの数値に基づき指標を算出している。H30はH25より1.3%増加しており、漁業就業者のうち若手就業者(40歳未満)の構成割合は着実に増加している。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・とやま漁業担い手センター事業による新規漁業就業者について、令和元年度:7名のうち6名、令和2年度:7名のうち6名が40歳未満であり、今後も一定程度の若手就業者の新規就業が見込まれるため。							
目標達成に向けた課題	・漁業就業者のうち若手就業者の構成割合は着実に増加しているものの、今後とも、総合的な漁業担い手対策事業を効果的に進めることにより、若手就業者の新規就業をさらに増加させていく必要がある。							
今後の取組み	・若手就業者をさらに増やすため、高校の新卒予定者を対象とした求人等の働きかけを強化するとともに、「とやま漁業就業ナビ」(R3.2開設)への求人情報掲載や、全国漁業者就業支援フェアへの参加を通じて、県外からの若手就業者の確保にも努める。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部水産漁港課	班・係	経営係
TEL(直通)	076-444-3292		

KPI番号	37							
KPI名	県産6魚種及び栽培漁業対象種の産出額(税抜)							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	45億1300万円	48億3100万円	39億6900万円	36億8700万円	39億3800万円	R4年3月公表予定	53億1100万円	-
評価指標動向の説明	<p>・ホタルイカ、シロエビ、高志の紅ガニ、ブリを中心として「富山のさかな」のブランド化を推進するなど、「富山のさかな」の知名度や評価は着実に向上しており、H27～H29は産出額が増加傾向にあったが、H30、R1は一部の魚種の漁獲量減等の影響もあり産出額は減少している。</p>							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	<p>・「富山のさかな」のブランド化(知名度の向上等)は進んでいるものの、産出額は漁獲量の影響を大きく受けることから、近年の漁獲状況や新型コロナウイルス感染症の拡大による需要の低迷を勘案し、目標達成には「要努力」とした。</p>							
目標達成に向けた課題	<p>・漁業収入の安定化など持続可能な漁業の確立を図るため、富山のさかながサステナブルであることの重点PRやネクストブランドを目指す栽培漁業対象種の一層の推進に取り組む必要がある。</p>							
今後の取組み	<p>・全国的に知名度が向上した「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大を図る。</p>							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部水産漁港課	班・係	振興係
TEL(直通)	076-444-3292		

KPI番号	38							
KPI名	水産エコラベルの認証数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	0件	0件	0件	0件	0件	0件	10件	0%
評価指標動向の説明	<p>・水産エコラベルは、生態系や資源の持続性に配慮した方法で漁獲・生産された水産物に対して、消費者が選択的に購入できるように商品にラベルを表示するスキーム。生産段階(漁業)認証と流通加工段階(CoC)認証がある。</p> <p>・県内では、漁業認証(1件、漁業者グループ)で、申請途上(予備審査受検済み)の案件があるものの、認証取得には至っていない。</p>							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	<p>・現時点で、漁業、CoC認証の取得に取り組んでいる漁業関係団体があることから、今後、認証取得が見込まれるが、認証取得に至っていないため「要努力」とした。</p>							
目標達成に向けた課題	<p>・水産エコラベルについては、認証された漁業による漁獲を起点として、CoC認証された流通・加工等のサプライチェーンで管理・販売された商品のみが表示可能となるため、漁業認証の取得のみでは、エコラベルのメリットである商品の差別化、付加価値向上に繋げることができない。</p> <p>・農林水産省が実施した調査※によると、水産エコラベルに対する消費者(12%)や漁業者(11%)の認知度は低く、エコラベルが添付された商品購入の意向については「ラベルが無いものと価格が同程度なら買う」(47%)、「エコラベルを購入の判断材料としない」とする消費者を合わせると7割を超えており、水産エコラベルの普及には、一層の認知度向上が必要</p> <p><※農林水産省「食料・農業及び水産業に関する意識・意向調査」(令和2年3月31日公表)></p>							
今後の取組み	<p>・申請途上の案件については、申請時に必要となる科学的データ等について、県からも情報提供・助言しており、早期申請を支援し、認証取得を後押しする。</p> <p>・現時点で、検討を進めている漁業関係団体に対しては、県も参加してワーキング・グループを設立し、認証取得を支援する。</p>							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	農林水産部農林水産企画課	班・係	市場戦略推進班
TEL(直通)	076-444-3271		

KPI番号	39							
KPI名	農林水産物の輸出に取り組む事業者数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	23社	30社	33社	40社	45社	47社	50社	94.0%
評価指標動向の説明	<p>・県が支援する海外バイヤーを招聘した県内商談会や海外での食品見本市への出展などマッチング機会の創出により、着実に増加している。</p>							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	<p>・県が支援する海外バイヤーを招聘した県内商談会や海外での食品見本市への出展などマッチング機会の創出による成果が現れ、引き続き事業者への支援を実施することで、さらに増加が見込まれ、達成可能とした。</p>							
目標達成に向けた課題	<p>・コロナ禍により、対面式での商談会の実施や海外での食品見本市への参加が難しいことから、オンラインを積極的に活用していく必要がある。</p>							
今後の取組み	<p>・これまでの海外バイヤーとの商談会や海外食品見本市への出展をオンラインで実施するとともに、オンラインを活用した海外ビジネス研修や海外バイヤーとの商談実践を支援していく。</p>							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局成長戦略室	班・係	総合計画・成長戦略会議担当
TEL(直通)	076-444-9609		

KPI番号	40							
KPI名	SDGsの県民認知度							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	—	—	—	—	21%	35.3%	40%以上	88.2%
評価指標動向の説明	・SDGs未来都市に選定されたR1年度の県民認知度が21%であることから、県民へのSDGsの周知を図る必要がある。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・本県のSDGs県民認知度は、SDGs未来都市に選定されたR1当時は21%であったが、昨年度は35.3%と上昇しており、達成可能と判断した。							
目標達成に向けた課題	・引き続き目標達成に向けて、さらなる周知を図る必要がある。							
今後の取組み	SDGs宣言の募集、SDGsフォーラム・ワークショップの開催等の実施により、SDGsに関する周知を図っていく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	生活環境文化部環境政策課	班・係	企画係
TEL(直通)	076-444-3141		

KPI番号	41							
KPI名	一般廃棄物再生利用率							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	25.2%	25.6%	26.5%	26.7%	26.0%	2022年6月 公表予定	28%以上 (R8)	—
評価指標動向の説明	・近年、全国では約20%で推移しているのに対して、本県では25～26%で推移し、全国を上回っている。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・レジ袋削減等による容器包装廃棄物の排出抑制、使用済小型家電や店頭回収された資源物等のリサイクルによる循環的利用を進め、集団回収や民間事業者による回収など資源回収の強化等の実施などにより、「達成可能」と考える。							
目標達成に向けた課題	・集団回収や民間事業者による回収など資源回収の強化等に引き続き取り組む必要がある。 ・「プラスチック資源循環促進法」の施行(令和4年度)に向けて、今後示される具体的な措置の内容を踏まえた対策の検討が必要。							
今後の取組み	・「プラスチック資源循環促進法」に基づく措置の内容を踏まえながら、引き続き集団回収や民間事業者による回収など資源回収に取り組み、再生利用率の向上を目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	生活環境文化部環境政策課	班・係	企画係
TEL(直通)	076-444-3141		

KPI番号	42							
KPI名	産業廃棄物減量化・再生利用率							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	95.0%	95.3%	95.5%	96.5%	95.7%	2022年6月 公表予定	97%以上 (R8)	—
評価指標動向の説明	・近年、全国では約97%で推移しているのに対して、本県では95～96%で推移し、全国と同程度である。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・近年、産業廃棄物減量化・再生利用率は95～96%で推移しているが、引き続き、廃棄物の排出抑制・循環的利用についての普及啓発等の取組みを進めることにより「達成可能」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・プラスチックの資源循環を一層推進する必要がある。							
今後の取組み	・プラスチック製食品容器の代替容器への転換、多量排出事業者への技術支援、リサイクル業者に関する情報提供等により、排出抑制・循環的利用を促し、減量化・再生利用率の向上を目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	生活環境文化部環境政策課	班・係	企画係
TEL(直通)	076-444-3141		

KPI番号	43							
KPI名	県内環境関連企業の海外展開に関するサポート件数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	13件	38件	45件	48件	49件	49件	55件	89.0%
評価指標動向の説明	・県内環境関連企業の海外展開支援を開始した平成27年度以降、順調に実績を積み重ねてきた。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	・県内環境関連企業の海外展開支援への対応がほぼ終了し、令和2年度以降はコロナ禍の影響もあって、新たな海外展開の動きは見られない。							
目標達成に向けた課題	・コロナ後の海外展開支援のニーズの有無等を把握する必要がある。							
今後の取組み	・県内環境関連企業のニーズに応じて、海外との調整や事業者への情報提供などの支援を行う。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局成長戦略室カーボンニュートラル推進課	班・係	
TEL(直通)	076-444-9676		

KPI番号	44							
KPI名	温室効果ガス排出量の削減率							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B × 100
	0.0% [H25比] 1.0%減 [H17比]	3.2%減 [H25比] 4.1%減 [H17比]	6.2%減 [H25比] 7.2%減 [H17比]	11.6%減 [H25比] 12.5%減 [H17比]	R4年6月 公表予定	R5年6月 公表予定	30%減 (R12)に 向け減少 [H25比]	-
評価指標動向の説明	<p>・本県の温室効果ガス排出量は、近年減少傾向にあり、基準年度においては全国の削減率(H30: 11.4%減[H25比])をやや上回る削減率となっている。</p> <p>・国では、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、R3年4月に、2030(R12)年度における温室効果ガス排出量を2013(H25)年度比で46%減とする新たな目標を掲げたところであり、今後、国のエネルギー基本計画及び地球温暖化対策計画の見直しが行われる予定である。これを受けて、本県でも削減目標の見直しを検討する予定である。</p>							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	<p>・エネルギー消費量が減少傾向にあること、H30年度以降に電力会社において二酸化炭素排出量が比較的少ないLNG火力発電が本格稼働していること、再生可能エネルギーの導入促進が図られていることなどから、現時点の目標については「達成可能」と判断した。</p>							
目標達成に向けた課題	<p>・省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入など、県民や事業者による取組みを着実に促進していく必要がある。</p>							
今後の取組み	<p>・引き続き、「新とやま温暖化ストップ計画」に基づき、県民や事業者、市町村等と連携して、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入などに取り組んでいく。</p> <p>・再生可能エネルギー等の一層の導入促進を図るため、R3年度に富山県再生可能エネルギービジョンを改定する。</p>							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	生活環境文化部環境政策課	班・係	企画係
TEL(直通)	076-444-3141		

KPI番号	45							
KPI名	事業所ビル等の延床面積当たりのエネルギー消費量の削減率(H14年度比)							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	21.2% 削減	22.7% 削減	21.9% 削減	22.8% 削減	2022年6月 公表予定	2023年6月 公表予定	34% 削減 (R8)	—
評価指標動向の説明	・事業所ビル等の延床面積当たりのエネルギー消費量は、全国の削減率(H30:27.6%[H14比])と比較して下回っているものの、長期で見ると改善傾向にある。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	・指標は目標に向けて改善傾向にあるが、近年下げ止まり傾向にあり、目標の達成にはさらなる取組みの強化が必要なため、「要努力」とした。							
目標達成に向けた課題	・エコアクション21の導入など事業活動における環境配慮や事業者による省エネ設備導入、建築物の省エネ性能の向上等の取組みをより一層推進する必要がある。							
今後の取組み	・エコアクション21の普及啓発及び「EA21自治体イニシアティブ・プログラム」の実施による取得支援などエコアクション21の導入促進を図るほか、事業者による省エネ設備導入、建築物の省エネ性能の向上等につながる支援制度やメリットの周知を行う。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部商工企画課	班・係	新産業創出班
TEL(直通)	076-444-9606		

KPI番号	46							
KPI名	小水力発電所の整備箇所数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	31箇所	39箇所	42箇所	48箇所	49箇所	50箇所	58箇所	86.2%
評価指標動向の説明	・小水力発電所の整備箇所数については、農業用水を利用した整備を中心に、毎年度順調に増加している。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・順調に伸長しているため、目標は達成可能と判断した。							
目標達成に向けた課題	・なし							
今後の取組み	・適地調査の結果等を踏まえ、整備の見込みのある小水力発電候補地を確実に整備することを目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部商工企画課	班・係	新産業創出班
TEL(直通)	076-444-9606		

KPI番号	47							
KPI名	県内初の地熱発電所(バイナリー式発電含む)の建設							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	-	-	-	-	-	-	1箇所以上の事業着手	-
評価指標動向の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の優れた地熱ポテンシャルを活かした再生可能エネルギーの導入促進のため、立山温泉地域において調査井掘削調査等を行っている。 							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	<ul style="list-style-type: none"> ・調査井掘削調査にて地熱発電が可能な蒸気や熱水の湧出は得られていないことから、目標は「要努力」と判断とした。 							
目標達成に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地熱発電に必要な蒸気や熱水が確認できていない。 							
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は立山温泉地域において、これまで実施していない、深さ2kmの地下構造や熱水流体の存在を探索できる方法(電磁探査)による地表調査を実施する。 ・地熱資源開発の実績やノウハウを有する民間企業の参画や事業継承の可能性について検討する。 							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部労働政策課	班・係	雇用推進班
TEL(直通)	076-444-4558		

KPI番号	48							
KPI名	県内大学等新規学卒者の県内就職率							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	63.1%	63.8%	63.3%	61.3%	60.9%	63.7%	67.5%以上	94.4%
評価指標動向の説明	今年度は前年と比較して、県内4大学、短期大学、高等専門学校、その他の専門学校等の全てで上昇した。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	昨年度に比べ、県内就職率は上昇したものの、目標達成にはより促進を図る必要があるため。							
目標達成に向けた課題	県内に在籍する学生を対象に富山県で働き暮らす魅力を伝える必要がある。							
今後の取組み	県のTターン推進強化事業のほか、県内の各大学等で県内就職率を高める取り組みを行う。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部労働政策課	班・係	雇用推進班
TEL(直通)	076-444-4558		

KPI番号	49							
KPI名	県外出身の県内大学等卒業生の県内就職率							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	16.6%	20.8%	17.9%	18.1%	21.4%	18.0%	20%	90.0%
評価指標動向の説明	今年度は前年と比較して、県内大学卒業生のうち県外出身者の割合が高い大学の県内就職率が低下し、県外出身者の割合が低い大学の県内就職率が上昇した。低下のほうが大きかったため、全体として低下した。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	平成29年度以降、年々上昇傾向にあったが、今年度、低下したため。							
目標達成に向けた課題	県外出身者の県内就職を更に促進するため、富山県で働き暮らす魅力を伝える必要がある。							
今後の取り組み	県のTターン推進強化事業のほか、県内の各大学等で県内就職率を高める取り組みを行う。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局働き方改革・女性活躍推進室	班・係	女性活躍推進担当
TEL(直通)	076-444-3328		

KPI番号	50							
KPI名	管理的職業従事者に占める女性の割合							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	7.6%	-	-	-	-	未公表 (R4春頃公表)	12.6%	-
評価指標動向の説明	民間事業所も含めた就業者のうち従業員における管理的職業従事者に占める女性の割合は、全国平均と比べて低い状況にある。(H27:7.6%/全国44位(全国平均9.7%))							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	煌めく女性リーダー塾の開催や女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定支援等の取り組みを実施しているものの、北陸3県を対象とした経済団体の調査(R2)では、管理職に占める女性労働者の割合は全産業の平均値で8.8%となっており、要努力とした。							
目標達成に向けた課題	固定的な役割分担意識やアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)、インポスター症候群(過小評価)等の意識改革を更に進めていく必要がある。							
今後の取組み	新たに県内企業の実態調査や官民連携による戦略会議を開催し、女性活躍推進戦略を策定するなど、企業や経済団体、関係機関と連携しながら女性が活躍できる環境づくりを推進していく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局働き方改革・女性活躍推進室	班・係	女性活躍推進担当
TEL(直通)	076-444-3328		

KPI番号	51							
KPI名	専門的・技術的職業従事者のうち研究者及び技術者における女性の割合							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	13.6%	-	-	-	-	未公表 (R4春頃公表)	15.8%	-
評価指標動向の説明	本県の専門的・技術的職業従事者のうち研究者及び技術者における女性の割合は、全国的に高い状況にある。(H27:13.6%/全国2位(全国平均10.7%))							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	本県は、専門的知識が必要とされる業種の多いものづくり産業のウエイトが高く、これまでも全国平均より高い数値を維持しており、過去5年間の伸び率を考慮し、達成可能とした。							
目標達成に向けた課題	引き続き、女性研究者・技術者等の育成や理工系分野の産業における女性の活躍を推進する必要がある。							
今後の取組み	新たに県内企業の実態調査や官民連携による戦略会議を開催し、女性活躍推進戦略を策定するなど、企業や経済団体、関係機関と連携しながら女性が活躍できる環境づくりを推進していく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局働き方改革・女性活躍推進室	班・係	女性活躍推進担当
TEL(直通)	076-444-3328		

KPI番号	52							
KPI名	男女共同参画チーフ・オフィサー設置事業所数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	192事業所	201事業所	213事業所	216事業所	230事業所	231事業所	290事業所	79.7%
評価指標動向の説明	<p>県内事業所の役員クラスの方が、事業所の核となり女性の活躍推進及び仕事と家庭の両立支援など職場における男女共同参画を推進していただく「男女共同参画チーフ・オフィサー」設置事業所数は増加傾向にあり、女性が活躍しやすい環境づくりが進められている。</p>							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	近年、設置事業所の増加数が減少していることから、「要努力」とした。							
目標達成に向けた課題	事業所における女性活躍の推進、引いては男女共同参画の重要性を周知していく必要がある。							
今後の取組み	女性活躍を推進している事業所の取組み等を紹介することで、女性活躍や男女共同の重要性を啓発するとともに、制度の周知を図り、男女共同参画を推進していただく「男女共同参画チーフ・オフィサー」設置事業所の増加を目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部商工企画課	班・係	新産業創出班
TEL(直通)	076-444-9606		

KPI番号	53							
KPI名	競争的資金(科学研究費)の獲得数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	491件	495件	486件	483件	518件	581件	2500件 (5カ年累計)	23.2%
評価指標動向の説明	H29年度以降全国採択件数が落ち込んでおり、それに伴い県内の採択件数も減少していたが、R1年度以降は全国の採択件数が前年に比べ増加したこともあり、県内の研究機関における採択数も増加した。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	近年全国採択件数は増加傾向にあり、今後も現状維持されれば年間500件を超えることは可能と思われることから、達成可能とした。							
目標達成に向けた課題	知の拠点たる大学の役割は今後ますます大きくなると見込まれることから、各高等教育機関へのより効果的な支援を推進し、魅力度向上を図り、県内企業や地域との連携強化につなげる必要がある。							
今後の取組み	県内高校生等から進学先として選択されるよう、魅力向上と教育研究機能の充実に取り組むとともに、情報発信の強化により認知度の向上を図る。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	経営管理部学術振興課	班・係	高等教育振興係
TEL(直通)	076-444-9652		

KPI番号	54							
KPI名	県内高等教育機関における県内企業との共同研究件数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	119件	95件	106件	71件	81件	102件	110件	92.7%
評価指標動向の説明	・経済情勢や所属する教員により年度によって増減があるが、実績のあった富山大学、富山県立大学、富山高等専門学校及び富山国際大学の4校全てで前年度実績を上回った。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・県立大学においては近年の学科拡充により教員数が増えており、今後数年をかけて県内企業との関係が深化し、共同研究数が増加する可能性があることから、「達成可能」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・知の拠点たる大学の役割は今後ますます大きくなると見込まれることから、県内高等教育機関へのより効果的な支援を推進し、魅力度向上を図り、県内企業や地域との連携強化につなげる必要がある。							
今後の取組み	・県内高等教育機関で構成する大学コンソーシアム富山が実施する教育連携事業や地域貢献事業、ひとづくり財団が実施する私立大学振興事業等への支援を通じ、県内高等教育機関のさらなる魅力向上に取り組む。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	経営管理部学術振興課	班・係	高等教育振興係
TEL(直通)	076-444-9652		

KPI番号	55							
KPI名	県立大学の公開講座受講者数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	626人	238人	447人	283人	306人	837人	340人 (R2～6年度 平均)	246.0%
評価指標動向の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度より工学部で実施する秋季公開講座のみではなく、看護学部で実施するユマニチュード公開講座が加わり、受講者数が増加している。 ・R2年度より、従来の対面型講義のみではなく、ZoomやYoutubeを活用したオンライン配信を導入したことにより、受講者数が増加している。 							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	・対面実施に加え、オンライン配信を今後も引き続き実施する予定のため、目標は「達成可能」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・秋季公開講座では年度のテーマによって、受講者数にばらつきがある状態であるため、毎年一定数以上の参加者が確保できるよう、内容の充実や情報提供の強化を図る必要がある。							
今後の取組み	・学生や社会人等のニーズに即して内容の充実・改善に取り組むとともに、オンライン配信の活用など受講しやすい環境の整備、情報提供の強化を図り、幅広い受講者層の確保に取り組む。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局 観光振興室	班・係	世界遺産・ふるさと教育推進担当
TEL(直通)	076-444-4604		

KPI番号	56							
KPI名	県内に自信をもって誇れるものがたくさんあると思う人の割合							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	26.2%	21.0%	20.8%	22.1%	19.4%	22.2%	30.0%	74.0%
評価指標動向の説明	・R2年度はR1年度の策定時の調査結果19.4から2.8ポイント上昇したもののH30年の基準と比較すると0.1ポイントと微増という結果になった。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	・目標達成率が74%に留まり、目標に向け、県民の地域における自然や歴史、伝統文化等に対する意識をさらに高めるため、さらなる努力が必要。							
目標達成に向けた課題	・世界遺産登録の実現に向け、引き続き、本県の提案に対し文化庁から示された課題(文化財指定や顕著な普遍的価値の検証など)の解決に着実に取り組む必要がある。							
今後の取組み	・引き続き、令和3年度当初予算に盛り込んだ事業を着実に推進し、国内外への更なる魅力発信を図る。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局ワンチームとやま推進室	班・係	地域振興担当
TEL(直通)	076-444-3114		

KPI番号	57							
KPI名	令和新時代まちづくり推進事業のモデル地域数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B × 100
	—	—	—	—	—	0地域	15地域	0%
評価指標動向の説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度においては、コロナ禍の影響下で地域の合意形成が得られず申請に至らなかったケースなどもあり、採択件数が0となった。 							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に向け、令和2年度から毎年3地域程度の採択を想定していたが、令和2年度の実績が0となり、令和3年度以降、当初想定を超える割合で採択件数を伸ばす必要が生じているため、「要努力」とした。 							
目標達成に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 各市町村・地域におけるニーズ・資源の一層の掘り起こしが必要である。 							
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 各市町村へのヒアリング等を通じ、補助金制度の周知を図るとともに、随時ニーズ・資源の把握・掘り起こしに努め、採択件数の増を目指す。 							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	生活環境文化部県民生活課	班・係	県民協働係
TEL(直通)	076-444-9012		

KPI番号	58							
KPI名	地域の魅力づくりに取り組むNPO法人数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	53法人	55法人	58法人	57法人	57法人	60法人	62法人	96.8%
評価指標動向の説明	・R2年度は主としてまちづくりの推進を図る活動を行う団体を新たに3法人認証し、解散する法人がなかったため、3法人の増加となった。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	・順調に地域の魅力づくりに取り組むNPO法人数は増加しているものの、役員の高齢化等により解散する法人や、法人格の多様化によりNPO以外の非営利法人を選択するケースが増加していることから、目標は「要努力」と判断した。							
目標達成に向けた課題	・NPO法人制度に関する認知度が低いことから、さらなる周知を図る必要がある。							
今後の取組み	・引き続き設立相談会の開催等を通じて、NPO法人制度の普及啓発や法人への支援を充実させていく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局ワンチームとやま推進室	班・係	地域振興担当
TEL(直通)	076-444-3114		

KPI番号	59							
KPI名	住みよさランキング(東洋経済新報社)							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	50位以内に 7市	50位以内に 9市	50位以内に 8市	50位以内に 5市	50位以内に 5市	50位以内に 3市	増加させる	-
評価指標動向の説明	R2年度は、50位以内に3市ランクインという結果となり、前年度と比較して2市減となった。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	近年、上位50位以内にランクインする市が減少傾向にあり、一層の努力が必要な状況にあるため「要努力」と判断した。							
目標達成に向けた課題	2020年から、本県に優位性のあった「持家世帯比率」が指標から外れたほか、「気候」の指標に「最深積雪」のデータが新たに加わるなど、ランキングの算定方法が従来と比較して本県に不利になっていることから、他の指標をより高めていく必要がある。							
今後の取組み	魅力あるまちづくりや地方創生の取組みにより、各指標の底上げを目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局 観光振興室	班・係	観光地域づくり推進担当
TEL(直通)	076-444-3500		

KPI番号	60							
KPI名	観光消費額 (対象: 宿泊客及び日帰り客、来訪目的: 観光及びビジネス)							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	1,635億円	1,448億円	1,561億円	1,494億円	1,483億円	980億円	引き上げる	—
評価指標動向の説明	北陸新幹線が開業したH27年の観光消費額(H26比+26.5%)は前年比で大きく伸びたが、その後は増減を繰り返し、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、R2年の観光消費額(R1比▲33.9%)は前年度を大きく下回った。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により観光客が激減していることに鑑み、目標達成は「要努力」と判断とした。							
目標達成に向けた課題	北陸新幹線の開業効果をさらに持続深化させつつ、令和5年度末の敦賀開業、その後の大阪延伸の効果を最大限に引き出す取組が重要であり、個人旅行者の多様なニーズに対応するためのマーケティングの実施や質の高い観光人材の育成など、戦略的な観光地域づくりに引き続き取り組む必要がある。							
今後の取組み	現在策定中の「新たな観光振興戦略プラン」の趣旨を踏まえ、北陸新幹線敦賀開業を見据えた戦略的なプロモーションやコアな富山県ファン・リピーターに届く効果的な情報発信に取り組みとともに、次世代の観光を担う人材の育成と地域における活躍促進等により、観光客数及び観光消費単価の向上を目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局 観光振興室	班・係	観光地域づくり推進担当
TEL(直通)	076-444-3500		

KPI番号	61							
KPI名	延べ宿泊者数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	3,991千人	3,408千人	3,895千人	3,780千人	3,808千人	2,228千人	引き上げる	—
評価指標動向の説明	北陸新幹線が開業したH27年の延べ宿泊者数(H26比+14.4%)は前年比で大きく伸びたが、その後は増減を繰り返し、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、R2年の延べ宿泊者数(R1比▲41.5%)は前年度を大きく下回った。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	令和2年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により宿泊者が激減していることに鑑み、目標達成は「要努力」と判断とした。							
目標達成に向けた課題	北陸新幹線の開業効果をさらに持続深化させつつ、JRや北陸三県、北経連、旅行会社等との連携も活用し、首都圏に加え、令和5年度末の敦賀開業を見据えた関西でのプロモーションの拡大や主要駅と観光地を結ぶ観光路線バス等の整備や関連商品の充実を図っていく必要がある。							
今後の取組み	現在策定中の「新たな観光振興戦略プラン」の趣旨を踏まえ、北陸新幹線敦賀開業を見据えた戦略的なプロモーションや主要駅等と観光地を結ぶ二次交通の充実・利便性向上等により、延べ宿泊者数の増加を目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局 観光振興室	班・係	観光地域づくり推進担当
TEL(直通)	076-444-3500		

KPI番号	62							
KPI名	旅行者満足度							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	75.7%	75.4%	74.4%	72.5%	66.4%	69.2%	引き上げる	—
評価指標動向の説明	北陸新幹線の開業以降は緩やかな減少基調であったが、R2年度の旅行者満足度は前年度より2.8ポイント増加した。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	R2年度の旅行者満足度(H27比▲6.5ポイント)が依然として北陸新幹線開業後のH27年度数値を大きく下回っていることに鑑み、目標達成は「要努力」と判断とした。							
目標達成に向けた課題	北陸新幹線の開業効果をさらに持続深化させつつ、令和5年度末の敦賀開業を見据えて、個人旅行者の多様なニーズに対応するため、富山ならではの観光資源のさらなる磨き上げ、着地型旅行商品の造成などに引き続き取り組む必要がある。中でも、本県が誇る世界水準の観光資源である「立山黒部」の世界ブランド化に取り組み、施策をより一層推進する必要がある。							
今後の取組み	現在策定中の「新たな観光振興戦略プラン」の趣旨を踏まえ、コアな富山県ファン・リピーターに届く効果的な情報発信や旅行者が満足度の高い旅を楽しめる受入環境の整備に取り組むとともに、「立山黒部」の高付加価値化の推進により、旅行者満足度の向上を目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局 観光振興室	班・係	国際観光担当
TEL(直通)	076-444-8752		

KPI番号	63							
KPI名	延べ外国人宿泊者数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	200千人	230千人	282千人	300千人	329千人	36千人	引き上げる	—
評価指標動向の説明	地域の観光資源を活用したプロモーション事業等と連携した積極的な訪日旅行プロモーション活動により、令和元年度は、中国、台湾、タイなどからの外国人宿泊者数が過去最高となったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外国人旅行者全体が激減した。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、外国人観光旅行者が激減したが、各市場の感染状況や往来再開に向けた動向を注視しつつ、収束後のインバウンド需要を確実に取り込むための効果的なプロモーション等を展開していく必要があるため、要努力とした。							
目標達成に向けた課題	国際旅行者が令和元年度の水準に回復するまでに2年半から4年程度要するとの予測(R2.10国連世界観光機関)もある中、コロナ禍をきっかけに変化した外国人旅行者のニーズに的確に対応していく必要がある。							
今後の取組み	現在策定中の「新たな観光振興戦略プラン」の趣旨を踏まえ、安全・安心な観光地に向けての受入れ環境整備や情報発信に取り組むとともに、近隣県と連携したプロモーション活動や広域周遊ルートの形成促進に努めていく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局 観光振興室	班・係	コンベンション誘致担当
TEL(直通)	076-444-4565		

KPI番号	64							
KPI名	コンベンション参加者数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	90,906人	92,122人	93,741人	108,958人	87,615人	8,912人	引き上げる	—
評価指標動向の説明	・北陸新幹線の開業効果が持続し、コンベンションの開催件数は増加基調にあったが、R1年度以降については新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少した。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、完全オンラインやハイブリッドでの開催が増加しており、参加者の規模縮小が懸念される。							
目標達成に向けた課題	・新幹線開業効果を維持・存続し、コンベンションの参加者数・開催件数の増加を促すため、国際会議をはじめ、コンベンション誘致をさらに推進するとともに受入体制の充実を図る必要がある。							
今後の取組み	・現在策定中の「新たな観光振興戦略プラン」の趣旨を踏まえ、国際会議の誘致強化と受入環境の充実を含め、コンベンションビューローや市町村、関係団体との連携を強化し、コンベンション誘致をさらに推進する。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	知事政策局 成長戦略室	班・係	官民連携・規制緩和推進課
TEL(直通)	076-444-8904		

KPI番号	65							
KPI名	アンテナショップへの来店者数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	47.6万人	71.7万人	69.8万人	69.1万人	67.3万人	42.2万人	75万人	56.3%
評価指標動向の説明	有楽町・日本橋両アンテナショップの来店者数は、横ばいに堅調に推移してきたが、新型コロナウイルスの感染拡大による休業要請や外出自粛等の影響により、令和2年3月からの来館者数は大幅に減少した。 (日本橋とやま館はH28.6開館)							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	H28年度に日本橋とやま館が開館して以降は横ばいに推移してきたが、R2年3月以降新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数が大幅に減少し、その影響は今後も続くと考えられることから「要努力」とした。							
目標達成に向けた課題	新型コロナウイルス感染症の長期的な影響やビヨンドコロナを見据える必要がある。							
今後の取組み	首都圏に居ながら富山の魅力を体感できる企画やリモートに対応したイベントを開催する等、新型コロナウイルス感染症を踏まえた施策を推進し、より一層の富山の魅力の県内外へ発信に取り組む。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部商工企画課	班・係	デザイン・クリエイティブ産業振興班
TEL(直通)	076-444-3245		

KPI番号	66							
KPI名	「越中富山幸のこわけ」商品の売上額							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B × 100
	19,370 万円	23,976 万円	21,404 万円	22,326 万円	23,756 万円	10,092 万円	24,000 万円	42.1%
評価指標動向の説明	・これまで順調に推移してきていたが、R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けて、大幅な売り上げ減となっている。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	新型コロナウイルス感染症の拡大が今後も継続すれば引き続き苦しい状況が続くものと思われる。							
目標達成に向けた課題	コロナ禍における販路確保							
今後の取組み	新型コロナウイルス感染症の終息後の反転攻勢を目指し、県内事業者への周知や製品開発支援を通じ、目標の早期達成にむけ努力していく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	商工労働部商工企画課	班・係	デザイン・クリエイティブ産業振興班
TEL(直通)	076-444-3245		

KPI番号	67							
KPI名	「べつばら富山」商品の売上額							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	13,625 万円	14,009 万円	13,022 万円	13,073 万円	11,468 万円	5,255 万円	16,600 万円	31.7%
評価指標動向の説明	・これまで順調に推移してきていたが、R元年度より新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けており、特にR2年度には大幅な売り上げ減となっている。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	新型コロナウイルス感染症の拡大が今後も継続すれば引き続き苦しい状況が続くものと思われる。							
目標達成に向けた課題	コロナ禍における販路確保							
今後の取組み	新型コロナウイルス感染症の終息後の反転攻勢を目指し、R2には新ラインナップの充実を図り、R3にはオンラインでの発表会を実施予定であり、コロナ禍における販路拡大方策などを通じ、目標の早期達成にむけ努力していく。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局ワンチームとやま推進室	班・係	移住・交流促進担当
TEL(直通)	076-444-4496		

KPI番号	68							
KPI名	県・市町村の相談窓口等を通じた移住者数及び学生Uターン者数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	462人	565人	729人	905人	926人	943人	1,200人	78.6%
評価指標動向の説明	県・市町村の相談窓口等を通して移住者数は、統計開始時(H20度)200人であったが、平成26年に400人を越え、以降年々人数を伸ばしている。							
目標達成の見通し	達成可能							
目標達成の見通しの判断理由	首都圏等での相談窓口体制や仕事に関する情報提供の強化等による移住促進施策を積極的に取り組んだ結果、年々、本県への移住者数は増加傾向にあることから、目標は「達成可能」であると判断した。							
目標達成に向けた課題	・コロナ禍で、地方移住への関心が高まる中、その流れを掴むために、首都圏・大阪圏・名古屋圏での情報発信に加え、関係人口の拡大に向け、取り組んでいく必要がある。 ・本県への移住者は、20～30代を中心とした現役世代が多く、若い世代に応じた情報発信やセミナーの開催等が必要である。							
今後の取組み	・富山くらし・しごと支援センターの相談件数は増加傾向にあることから、引き続き、国、市町村、民間団体等と連携しながら、暮らしと仕事の一元的な相談対応に取り組むとともに、テレワーカーを対象とした支援事業やワーケーション関連事業を実施し、関係人口の拡大を目指す。							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局ワンチームとやま推進室	班・係	移住・交流促進担当
TEL(直通)	076-444-4496		

KPI番号	69							
KPI名	移住希望先ランキング(NPOふるさと回帰支援センター)							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	11位	15位	10位	8位	18位	(窓口相談者) 17位 (セミナー参加者) 12位	5位	—
評価指標動向の説明	NPOふるさと回帰支援センターの運営する「ふるさと暮らし情報センター」の来場者を対象とした「移住希望先ランキング」において、トップ20以内はキープしているものの、R2は窓口相談者17位、セミナー参加者12位となった。							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	各県が移住促進に取り組んでおり、ふるさと回帰支援センターにはほとんどの都道府県が相談窓口を設置している。その中で、富山の暮らしやすさの魅力を一層発信することが必要であることから「要努力」と判断した。							
目標達成に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、地方移住への関心が高まる中、その流れを掴むために、首都圏・大阪圏・名古屋圏での情報発信に加え、関係人口の拡大に向け、取り組んでいく必要がある。 ・本県への移住者は、20～30代を中心とした現役世代が多く、若い世代に応じた情報発信やセミナーの開催等が必要である。 							
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・富山くらし・しごと支援センターの相談件数は増加傾向にあることから、引き続き、国、市町村、民間団体等と連携しながら、暮らしと仕事の一元的な相談対応に取り組むとともに、テレワーカーを対象とした支援事業やワーケーション関連事業を実施し、関係人口の拡大を目指す。 							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局ワンチームとやま推進室	班・係	移住・交流促進担当
TEL(直通)	076-444-4496		

KPI番号	70							
KPI名	「とやま移住・応援人口創出事業」への参加者数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B × 100
	—	—	—	—	0人	19人 <small>(オンライン)</small>	100名 <small>(累計)</small>	—
評価指標動向の説明	<p>「とやま移住・応援人口創出事業」は、将来的な移住に向けた裾野の拡大を図るため、本県への移住や二地域居住などを希望する県外在住の社会人を対象とした富山県内でのフィールドワークなどを実施する事業である。R1年度は新型コロナウイルスの影響により、事業を中止したものの、R2年度は、オンラインで実施したところ19名の参加があった。</p>							
目標達成の見通し	要努力							
目標達成の見通しの判断理由	<p>新型コロナウイルスの影響により、オンラインでしか事業を実施できていないこと、富山県内で開催する場合、密を避けるため規模を縮小して実施する場合も考えられるため、目標達成は「要努力」と判断した。</p>							
目標達成に向けた課題	<p>コロナ禍で、地方移住への関心が高まる中、その流れを掴むために、首都圏・大阪圏・名古屋圏での情報発信に加え、将来的な移住につながる関係人口の拡大に向け、引き続き取り組んでいく必要がある。</p>							
今後の取組み	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、引き続き「とやま移住・応援人口創出事業」を実施していくとともに、テレワーカーを対象とした支援事業やワーケーション関連事業を実施し、関係人口の拡大を目指す。</p>							

「第2期とやま未来創生戦略」 KPI進捗状況評価票

部局・室課	地方創生局ワンチームとやま推進室	班・係	移住・交流促進担当
TEL(直通)	076-444-4496		

KPI番号	71							
KPI名	「クラウドファンディング活用 発展型継業・起業支援事業」に基づく、県の支援プロジェクト件数							
進捗状況	3年前	2年前	1年前	基準	策定時	実績	目標	達成率
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)A	(R6)B	A/B×100
	—	—	—	2件	9件	11件	50件	22.0%
評価指標動向の説明	R1年度までは、順調に推移していたものの、R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、本事業への申請は減少した。							
目標達成の見通し	達成が困難							
目標達成の見通しの判断理由	<p>県外在住者も対象に、県内で地域課題の解決や地域活性化に資する新たなプロジェクトを実施する事業者の資金調達を支援するため、当該事業を実施してきたが、県外在住者で富山県内での起業とスタートアップを目指す方を支援する「とやまスタートアッププログラム事業」を実施しており、また、これまで東京23区に限定していた「とやまUIターン起業支援事業」も対象者を全国に広げ、県外から移住される方の起業支援を拡大したところである。</p> <p>以上の理由から、「クラウドファンディング活用発展型継業・起業支援事業」を廃止したことから達成困難とした。なお、今後当該指標については、見直しを検討する。</p>							
目標達成に向けた課題	—							
今後の取組み	—							